

「近頃思うこと」

新潟市

私保協だより

新潟市私立保育協会

会長 平澤 正人



新型コロナウイルスの全国的な感染急増が続いています。各地において毎日の様に過去最多の感染を確認したとの発表がなされています。執筆中の今も、県内で過去最多の感染という速報が入ったところです。全国的に感染拡大が継続しているのが現状です。七月、八月と二十歳未満の若い世代の感染が急増しているのが大変気になるところです。今はちょうど夏休みが終了して、学校の授業が再開した時期でもあります。学校での感染が相次ぐ中で、小学校・中学校等の学校における感染防止対策も極めて重要であると思われれます。国も学校現場で

VOL. 79号

発行

新潟市私立保育協会

事務局 〒950-0994
新潟市中央区上所2-9-12 フェアリーベル105号室
TEL (025)384-0091
FAX (025)384-0092
メール hoikukyoukai@nno.xcon.jp
発行者 会長 平澤 正人



の対策を強化する方針を決定しました。県においては県内すべての小中学校等において抗原検査キットを独自に配布することとし、また市では改めて感染症対策説明会がオンライン等で実施されています。「分からない。理解できていない」ということが不安に繋がると思うとよく言われております。この意味でも、コロナを正しく理解して、コロナに正しく対応することが何より重要であります。考えてみますと私達は「新型コロナウイルス」と約一年半以上も必死で戦っていることになりました。この度の私保協だよりでは「コロナ問題」には触れたくはなかったのが正直な気持ちです。だが、一口で言えば、益々複雑化しているのが現状であり、厳しい状況が続いています。そして、「子どもの感染の問題」が今まで以上に国を挙げて重点的に取り組まれていきます。とにかく、身近でかつ現実の課題です。全ての人々に関わる課題です。この期に及んでもまだ「自分にはあまり関係が無い」と関心

の薄い人が若い世代にはいるとも聞きます。「誰もが感染者になり得る」ということを今こそ本当に理解すべきであると思うのです。今こそ全ての人々が「当事者意識」を持つべき時です。子どもたちの生命と安全を守り抜くために、私達は今まで必死に頑張ってきたが、最新の情報と新たな視点を持って、更に頑張ってきたら。また、長期化している感染防止対策を実施した上での保育の継続が、子どもたちの育ちや発達にどのような影響を及ぼしているのかということも考えていかなければならないと思うのです。

この様に課題山積ですが、だからこそ最後に大事なことをもう一言申し上げたいのです。それは、「デルタ株」は症状が出やすいと言われていますので、普段と違う体調を感じたら、休むということも必要であるということ。頑張り続けることを避けなければならぬということもあるということです。休むということが何よりも必要とされる時もあるのです。これらのことを皆で理解し合える組織であり、職場でありたいものです。保育の専門家集団として引き続き頑張ってください。宜しくお祈り致します。

